

玉野市立学校適正規模化地域説明会（山田中学校区） 会議録（要旨）

- 日 時 令和4年8月4日（木）19:00～20:30
- 場 所 山田公民館
- 出席者 妹尾教育長、小崎次長、山内教育総務課長、的場学校教育課長
- 参加者 11名（地域9 保護者2）

1 開会

教育長あいさつ

2 説明

教育総務課長説明

3 意見交換

教総課長：意見を伺う前に、ここまでの説明で分かりにくかった点、疑問に思う点などあればご質問いただきたい。

参加者1：児童生徒数のグラフが、ものすごい先までどんどん減っているが、人口を増やすような、夢と希望を持てる計画はないか。

例えば、明石市長は、市の会計をやりくりして子どもにお金を回した。子どもを優遇する様々な施策を取ったら10年で人口がものすごく増えたと、参議院内閣委員会で話をしていて。玉野市もとても素敵なところなので、何かそういう希望が持てるような計画はないか。

また、学校施設の維持費を40年先まで計算したのはなぜか。

教総課長：まず人口を増やす施策だが、玉野市としてはいろいろ手を打っていて、例えば移住者呼び込むにも、サイトを作ったり冊子を作ったり、あと補助の制度もあったと思うが、いろいろ制度を作っているし、中学生までの医療費無料などは他市に先駆けて玉野市が実施している。そのほか、35人学級は玉野市独自に進めてきた。そういうことをしてはいるが、現実として児童生徒数は昭和57年をピークにずっと下がり続けている。

もちろん、今後とも子どもたちを増やす、人口を増やす努力はしていかなければならないが、その一方でこうした現実がある。今から先々を見据えて対策を立てて行かなければならない。

次になぜ40年の表かということだが、使用した文部科学省提供のソフトが向こう40年間をシミュレーションするものだったからだ。今ある学校の建設費用、建設年度、老朽度合等を入力して、20年ごとに大規模改修、40年目に長寿命化、80年目に改築する場合の経費をシミュレートしている。

参加者2：統廃合を積極的に進めているように思う。統廃合のメリットは今の説明で聞いた分かったが、統廃合のデメリットは何か。

教総課長：例えば通学距離が長くなるであるとか、あとは学校が地域から無くなると地域の活気が無くなるというのは、これまでの説明会で指摘があった。

参加者2：教育的見地からはどうか。

教総課長：一定規模の児童生徒がいる学校を今後ともキープして守り続ける。

参加者2：メリットはそうだ。デメリットが無いのであれば統廃合を進めればよいが、デメリットがあると思う。デメリットをどう考えているか知りたい。

学教課長：小集団小規模で生活していた環境が大きく変わる。慣れるまでにいろいろあるかもしれない、一時的にはデメリットと思われるかもしれないが、それは今後子どもたちが社会で生き抜く力を得るためには必要な環境の変化で、しっかり支援をしながらと考えている。はっきりデメリットというものではないが、心配される部分として、そういったところが考えられると思う。

参加者3：子どもがいま後閑小学校の5年生だ。これはいつから..

自分は後閑のあの雰囲気が入っている。みんなが知っているという環境で、学校自体も落ち着いていて、中学校も隣の子と一緒にあって、すぐ近くで安心してた。

適正規模化の話聞いて驚いた。東児中と統合されると聞いてまたびっくりで、峠を2つも越えないといけない。後閑の90%の地域がスクールバスの対象とのことだったが、うちは5.9kmだった。一緒に行く子も少なく、あの峠を一人越えさせるのかと。絶対行かせられないと思った。

今現在、後閑地区の中学生の半分くらいは宇野中に行っている。うちは安心して山田中に送り出そうと思っていたが、東児中だったらとても行かせられず、行くのであれば宇野か八浜かなと考えている。

草案にはプランA、Bなどあるが、この中から決めるのか。もしバスで通えるのであれば宇野中へバスなどの選びしろがあればよいが、そのあたりはどうか。

教総課長：まず時期的なものだが、この計画ができるのは、早くとも令和6年3月になると思う。その後すぐに着手するとしても、統合に向けた準備が必要だ。例えば学校名をどうするかなど、決めることはたくさんある。スクールバスを走らせるのであれば、ルート協議もあると思うので、他市の例でいえば2年...

参加者3：計画が決まってから2年か。

教総課長：どんなに早くても準備に2年はかかるし、すぐに着手するかも分からない。学区割をどうするかも検討委員会で協議をお願いしたいと思っている。峠を2つ越えるのであれば宇野中の方がいいとか...

参加者3：はっきり6kmと決まっている。そこは少し大らかにかというか、5.9kmの子たちも救ってもらえるのか、やっぱり無理となるのか。であれば、私は絶対に自分で送り迎えをしようと思っている。

教総課長：徒歩を例に説明をしたが、他市だと4kmではなく3kmくらいで線を引いているところもある。そのあたりは検討委員会の中で...

参加者3：平坦な6kmと峠がいくつもある6kmとでは違う。宇野中は遠いかもしれないが、平坦だから皆さん行かれているのだと思う。

教総課長：6kmの線引きも、実際の住宅の分布によって変わってくると思う。厳密に区切れば集落の中で1軒だけ自転車ということもあり得る。ここの住宅の区域まではよしとするなど、個別に議論がなされるべきところだと思うので、今日の段階でこうとは説明できないが...

参加者3：考慮はしてもらえるということか。

教総課長：統合に向けた協議の中で話し合いがなされると思う。原則として4kmにしよう、3kmにしようという部分を検討委員会で話をして、あとはその地区の実態に即したものになると思う。

参加者3：適正の学校の人数、35人とか言っていた...

教総課長：1クラスの定員だ。小学校は1クラス35人、中学校は40人。

参加者3：学校が減るぶん、1校1校にもうちよっと手厚くできないか。35人や40人でなく、25人とか30人いかないくらい。

うちは1クラス10人行かないくらいで、全体で30人くらいの学校だ。だから先生が本当によく見ている。今の先生は時間になったら早く帰りましょうとか、負担は大きいと思うが、親としては、子どもを勉強も精神面でも細かいところまでしっかり見てほしい。

人数が35人とか40人だと、絶対に先生一人で見られない。それは不可能だと思う。だから学校が減ったぶん、そっちの方にもし予算を割いてもらえるのであれば、私としてはまあいいのかなと思う。

ちょっと人数が増えて、学校もちよっと遠いけど友達も増えてなら、まあいいかなと思うが、学校は遠い、人数も増え、先生からも見放されただと、勉強とかいろいろ面でちよっと心配なので、はっきり決まる前にそういうことを考えてもらえないか。

教総課長：予算を伴うのでこの場で約束はできないが、言われるように例えば30人にするなどは、玉野市独自の施策としてとても良いものだと思う。そういうことができれば理想的だと思う。

参加者3：そうすると他の市とか町から、玉野市は1クラス25人だよ、勉強よく見えてくれるよ、来たらすごく良いよといった感じで増えはしないかと思う。

教総課長：こういう意見があったということを、検討委員会や市長に報告したい。

参加者1：地域説明会をしても、さほど人が集まっていない。地域の人たちにしっかり説明をして、しっかり意見を吸い上げて進めてくれると思うが、地域や保護者、子どもも教職員も含め、時期的に意見をどのあたりまで吸い上げてもらえるか。ここまで行ったらもうあとは進みますという時期は。

教総課長：この地域説明会が9月末までかけて7か所回る。また、アンケートの締切が10月7日だ。それくらいまで意見をいただいて、あとはそれを集約し、検討委員会で協議する作業に入る。

参加者1：そこから先は意見を言えないということか。

教総課長：こういった形で意見をいただく場は今のところ予定していない。

参加者1：別の形で、意見のある人が話し合いをできる場を今のところは考えていないということか。

教総課長：例えばだが、進捗を説明に来てほしいということであれば、何人が集まってもらえれば、出向いて説明はする。

参加者1：そこでは変更の余地はあるということか。

教総課長：いただいた意見は検討委員会に報告する。

教総課長：質問はいったん区切る。次に伺いたいのは適正規模化そのものに対する考え、賛成反対、分かるけど反対、反対の気持ちが強いが仕方がない、いろいろあるかと思うが、そういった適正規模化そのものに対するご意見をいただきたい。

参加者 1：賛成でも反対でもなく、先ほど発言したように、地域や子どもたち、保護者、もちろん教職員の意見もしっかり拾い上げてほしいと思う。

小学生の子を持つ母親に聞いてみたが、新聞に出ていたことやアンケートのことを言っても、えー？という感じだ。このアナウンスの方法では地域の意見を満遍なく吸い上げることはできない。統廃合は、地域から学校がなくなってしまう大事な話だ。皆の意見が「統廃合した方が子どもたちのためだ」となればそれで良いと思うが、その前に広く知らしめて、広く意見を吸い上げないといけない。学校がなくなると地域の過疎化が進むと思う。その地域は火が消えたようになってしまう。だからよく話し合いをしないとイケないと思う。そこをお願いしたい。

広報たまの7月号には説明会のことが載っていたが、8月号には載っていない。8月も9月も説明会があるので9月号にはぜひ出してほしいし、8月の残り2回については、何らかの方法で説明会があるということをしっかりアナウンスしてほしいと思う。

先ほど統廃合のデメリットの説明があったが、考えられるのはこうとかではなくて、既に統廃合を進めている地域からデータを集めてほしい。それで実際にこんなメリットやデメリットがありましたと教えてもらった方が、より考える材料になると思うのでお願いしたい。

あと、小中学校の不登校児童生徒数が過去最大だ。少子化はものすごく進んでいるのに、不登校は過去最大。自殺者数も過去最大。何十年も切磋琢磨し合って教育を受けるのが良いんだとやってきてこの結果だ。

玉野市独自のという言葉もあったが、今の子どもたちにとって一番良い方法は何か。本当に切磋琢磨することがいいのだろうか。もしかしたら異年齢集団で複式とかで学習することが子どもたちにとっては（良いのではないか）。小規模だと先生がよく見てくれるという保護者の意見もあり、切磋琢磨という、大勢の方が将来的によいとするとところに私は疑問を感じるので、ちょっと考えてほしい。

参加者 4：知り合いの久米南町の議員がフェイスブックで発言をしている。

過去に統廃合した沖縄の国頭村は40年か50年ほどで人口が半減している。ところが石垣市は統廃合を踏みとどまり、40年間人口が減っていない。子どもの幸せをと言っているが、子どもの幸せは地域の幸せでもあるし、地域の人口や地域の元気がなくなれば、子どもにとっては不幸だと思うので、統廃合は慎重にしてほしい。

保護者の発言にもあったが、私は教員をしていて、35人を担任するのと20人25人を担任するのでは、明らかに少人数の方が自分の力を発揮できる。そして一人ひとりを見ることができる。きっとどの教員もそう言うと思う。そういう少人数の学校がたくさんあるよ、手厚いよということが口コミで広がれば、人口増にもなる。ただそこは教育委員会だけの力ではだめだと思う。例えば玉野市には産婦人科がない。明石市長の政策とかを見て、市で頑張してほしいと思う。

参加者 2：複式教育は本当にだめなのか。複式の学校の学力は低いとか、不登校の子が多い

とか、データがあれば示してほしい。私が調べる限りは無いのだが、無いのであれば、複式は悪くないと思っている。なぜなら後閑小は素晴らしい教育をしているように聞いているし、子どもたちも本当に穏やかで、学力も決して低くないと思う。それをなぜ廃校にするのか疑問だ。何かデータはあるか。

教総課長：データについては、明らかなものはない。

参加者2：感触としてはどうか。複式の子どもたちが劣っている？

学教課長：学力テストとの相関性のようなデータのものは無い。一方で、少人数で手厚く教育を受けている少人数の学校の成績が良いかという、そういうものでもない。

複式が良いのか悪いのか、これは良い面もあるし、逆に課題となる部分もある。ただ、今の教育というのは、これから社会に出て、集団の中で自分としてしっかり生きていくための力、例えば、他者を認めて多様な考えや意見を受け止め、それを踏まえて自分の中で考え、判断し、表現していく、そういう力をしっかり伸ばしていくような、これまでの詰め込み教育とか、知識だけの教育ではない、そういう学びを進めている。

そういう中で、例えば複式で先生と1対1、あるいは2人3人での学校生活、学びとしたら、どれだけの多様な人との関わり、広がりがあるのかという部分で課題がある。

もっと言うと、学力だけではなくて、他者と人間関係を築いていくうえで身に付けていくもの、というところに非常に課題があると思う。実際に、学校訪問等々でそういう部分を課題と感じていると聞き、保護者が心配しているという意見も耳にする。

参加者2：複式も、県下でも全国にも素晴らしい実践があるし、この地区の複式も素晴らしい。地域とともにある学校ということで、足りない部分は地域の方と交流をする中で、コミュニケーション能力をつけながら心豊かに育っている。そこは十分解っているとは思う。できれば潰したくないと思う。

学教課長：地域の方といろいろ交流していることは十分解っているが、先ほど話したようなことも、子どもたちが学ぶという点で考えていかなければならないことも知ってほしい。

参加者2：私は、自分の住むエリア、地域に小学校があるのがいいと思う。親としては安心できるし、道でいろんなものに出会ったり、人と会って挨拶をしたりできる。自分の生活圏に学校があることが必要だと思うが、その辺はどうか。

適正規模ばかりが話題になるが、適正配置も草案の中にはあったと思う。私は、自分の住むエリア、つまり歩いて行ける、安全に自分の力でそこへ行ける、というのが適正配置と考えるがどうか。

教総課長：ここで教育委員会がどうというよりは、今後、適正規模・適正配置検討委員会の中で、玉野市としてどうあるべきかを議論いただきたいと考えている。

参加者2：この草案に適正配置の意味は含まれていないということか。

教総課長：この草案の名称は「適正規模化計画」だ。

参加者2：子どもの生活エリアで、ふだん自分が行く郵便局、自分が行く商店の学習ができるような、自分の近くのおばちゃんと会話ができるような、小学校はそうあるべきだと思う。その考えも入れてあげてください。

参加者 5：私は後閑小学校で子どもが 4 人お世話になった。学校が複式問題で市議会に申請したりした、そういう時代に子育てをした親だ。町内会もみんな巻き込んで、学校を建設しようという運動もずっとしてきた。だから後閑小学校に愛着がある。後閑小学校の運動会は地域の運動会で、みんな参加していた。町内対抗の老人の競技もあるし、高齢のそういう時代に子育てをした者としては、ぜひ後閑小が残ってほしいと思う。

団地ができ、雇用促進住宅もできて、一時は小学校も百何人という時代があった。それがいま 30 人とか、ずいぶん減っている。だけど、そこで育った子どもたちが子どもを産んでということも起きている。だから、短期間だけ見るのではなくて、ぜひ小規模のいいところも認めてもらいたい。

それから、学校のことに関しては P T A が一番関心を持っていると思うが、各学校の P T A の意見、親の意見、本当にみんなに聞こうとしているか。一番切実な P T A の親たちを抜きにして話を進めることには賛成できない。ただアンケートを取ったとかではなく、ぜひ P T A を通して話し合いを呼びかけてほしい。

後閑には公的なものが何もない。その学校までなくなるのは、とても反対だ。

参加者 6：複式学級のデメリット、メリットについてデータとかあれば。というのも、岡山県の複式学級は近年右肩上がりが増えていて。もし悪いものであれば増えていかないと思う。玉野市は複式学級をもっと考えてくれたら。

子どもの数を 20 年後まで示しているが、20 年後に日本という国がどうなっているか、国も考えが変わっている場合もあると思う。だから人数で拾い上げてこんなデータにするより、もっと違った方向で、人数が減る玉野市を逆手にとって考えてもらえればと思う。複式を悪いものとせず、もう少し具体的なメリットデメリットを説明してほしい。

今度東児地区の説明会があるので、なぜ岡山県で増えているかなどを具体的に、説得力のあるものにしてほしい。とにかく地域を生かしていく方向に、本当に日本全国子どもの数が減るようになっていっているので、玉野市だけでなく、もっとみんなが夢のある子どもの将来を考えてもらって、今までの説明で子どもの人数、維持費、通学距離、それでデータができていて、それだけでいいのだろうかと思う。

教総課長：今の発言はご意見ということでよいか。

参加者 6：資料に「当面の複式学級を解消」とあるが、複式を悪者にしないで、特に小学校の子どもたちは、地域で育てて行くのが、夢のある子どもを育てることになるのではないかと思う。

参加者 1：私は玉野市の元々の住民ではないが、玉野市がいいと思って来た。それは自然だ。玉野市独自と言われたので、せっかくだから、深山公園とか、王子が岳とか、海とかを使って、玉野市の学校は体育の時間にシーカヤックできるらしいとか、ボルダリング部があるらしいとか、そういう思い切った売りを、ぜひ地域の皆で考えていけたら、学校だけ、市だけで大変だと考えずに、地域の資産、人はいっぱいいるのだから、そういう夢のあることも考えてもらえるとありがたい。